

会議顛末報告書

- 会議名 富良野市住居表示審議会（平成 26 年度第 1 回）
○日 時 平成 26 年 5 月 22 日（木） 16 時 00 分 ～ 17 時 30 分
○場 所 富良野市役所 第 3 会議室
○出席者 委員：中島 浩、酒井智雄、土橋眞二、原田 武、跡部昇一、長屋義文、
松下隆裕、外崎番三、鎌田忠男
市：能登市長、近内総務部長、長沢市民環境課主幹、須藤市民年金係長
（欠席）和田秀紀委員
-

○審議

開会 16:00

1. 審議委員会開会

（事務局 近内部長）

今回、4 月付け異動に伴い 2 名に辞令交付する。

2. 辞令交付

自席に回りますので、起立のうえ受け取り願う。

中嶋委員、酒井委員に辞令を交付。

3. 市長挨拶

（能登市長）

出席いただきありがとうございます。

今回、前任者の異動に伴い酒井委員、中島委員に辞令を交付させていただいた。審議会委員として任務を果たしていただきたい。

富良野市は山部町と合併し市政施行 48 年となる。

過去、山部（農家地区名称）地区、布部地区においてこれまで使用していた名称について不都合があると地域の要望を受けて、山部農家地区については 1 区、2 区・・・とし、布部地区も名称を変更した。

住居表示については、地域住民の要望に応え対応していくこととしている。

最近では山部市街地区において実施し山部東、西、南、北、中町とした。

今日は学田三区に関して経過報告と併せご審議いただきたい。

（事務局 近内部長）

この後の審議については原田会長に議長を務めていただく。

(原田会長)

本審議会は、市長の諮問を受け富良野市の住居表示に関する事、町の区域や町名を審議することとなっている。

最近では、平成 23 年に山部市街地の住居表示を実施、また昨年 3 月には新富町の一部を西町に区域の変更をしている。

それぞれ市長から諮問を受け区域、町名について審議し答申を行い実施にいたったところである。住所については、一度設定すると簡単に変更できるものではない。今後の町の新設、住所変更については十分な審議が必要と思われる。

本日は、昨年の審議会において学田三区に関して議題となりましたので、その件中心にご審議のほど願う。

4. 連絡・報告事項

(原田議長)

1)、2) について事務局より説明。

(事務局 長沢主幹)

1) 富良野市住居表示審議会について

資料 1 の富良野市住居表示審議会条例について、審議会の所掌事項は市長の諮問に応じて、町の区域及び名称の変更に関する事、町の区域新設及び廃止にかんすること、住居表示に関する事となっている。

資料 2 について平成 15 年からの開催状況と審議内容を記載した。

平成 16 年北斗町、21 年に東雲町、23 年に山部市街地の住居表示実施について、それぞれ諮問し、審議後、答申をいただき実施した。

2) 住居表示実施までの流れとこれまでの実施状況について

資料 3 は住居表示実施までの流れについて説明する。

地域町内会において協議していただき実施の要望については、連合町内会からの地域要望としてあげていただくところから始まる。

これを基に市においても実施に向けての判断をしていく。

資料 4 は住居表示実施について各町の経過一覧である。

資料 5 は住居表示実施地図（富良野市街関係）である。

(原田議長)

これまでの説明に何か質問等あるか。

なければ、次に 3) の説明をお願いする。

(事務局 長沢主幹)

3) 学田三区における住居表示実施に関するアンケート結果について

資料 6 については、今年の 1 月以降、北の峰第 5 町内会においてアンケート調査を実施した結果を

まとめたものである。

北の峰第5町内会会員は92名で内北の峰28番～30番居住者34名を除くと58名となる。
また、当該区域に事務所、店舗、工場を置く会社等は33名ありこれらも併せ対象とした。

回答数は、一般会員が58名中18名回答（回答率31%）、会社関係が33名中33名（100%）で計51名であった。個人は班回覧し班長へ提出。会社は個別に会長がまわり直接説明し回収した。

結果、（3）学田三区の住居表示は必要かに

①必要であるは9名（17.6%）、②必要ないは35名（71.4%）、③わからない6名（12.3%）であった。（注 配布資料中①の合計を8名（16.3%）としていたが上記に訂正する。）

②必要でないが、①必要であるを上回った結果となった。しかし、一般会員の回答率が低い反面、会社等は100%であった。

（原田議長）

ただいま報告いただいたが、第5町内会会長として実施した長屋委員から補足はないか。

（長屋委員）

費用がかかることが大きい。会社をしている人にとって実施する必要がないとの結果であった。

（原田議長）

回収率をみると、会社関係100%、一般31%となっている。

何故一般の人の回収率が低いのか？

（長屋委員）

一般分については1軒1軒回っていない。できないためかと思う。

（松下委員）

一般の58名についてはどのような人数か。

（事務局 長沢主幹）

第5町内会会員会全体（92名：市広聴広報係把握数字）から北の峰町の会員（34名）を引いた人数。
町内会に加入している人数（世帯）。

（松下委員）

町内会に入っていない人は対象となっていないのか

私の会社の社員の中には住民票もない人がいるがこの人たちにはアンケートはいかないのか？

（長屋委員）

町内会に入っている人に対し行った。

（松下委員）

会社には来たが寮に入っている人にはアンケートがこなかった。

（事務局 長沢主幹）

町内会を通しおこなっている。

（松下委員）

アンケートの方法はどうだったろうか？

夏場の案内にもものすごく時間と労力をかけている。

ネットで買い物をする際にも住所がない（番号がない）ので苦労している。

客が住所をみてもたどり着けない、自分の会社にとっても富良野市にとってもデメリットである。

一時的にお金がかかってもその後のメリットは大きいのでは、早急に変えたほうが良いと思う。
火事の際にも住所があったほうが早く現場に到着する。

(原田議長)

他の委員についてはそれぞれいかがか。

(中島委員)

電話で通報を受けた場合、電話を1人が受け、もう1人が地図を開き場所を特定する。
現時点で何番何号がないと困るということはない。

(土橋委員)

郵便の振り分けは機械が行っているが、住居表示の無いところは人手で行っている。

(酒井委員)

消防と同様に地図を開き確認している。1分1秒を争う場合はすぐたどり着けない。
事件事故を考えた場合、コスト問題抜きであったほうが良い。

(原田議長)

学田三区にも地番があるがこれを利用している人はいるか？

(事務局 長沢主幹)

地図を見ると学田三区の後に地番を振っている(字学田三区 XXXX)ところがある。住民票の住所は字学田三区である。

(松下委員)

地番を振っている。場所が特定できればよい。

(事務局 長沢主幹)

今回は地番では出来ない。住居表示の実施による。

(原田議長)

工事発注などでの学田三区内の会社住所はどうなっているのか？

(外崎委員)

あくまで住所として字学田三区となっている。

(松下委員)

場所が特定できず非常に困っている。

(原田議長)

実施については住んでいる人にとっては費用がかかる。企業からの回収率は100%で不必要。一般は回答率が低い。

(松下委員)

印刷物に関しても費用が掛かっているのも今のままが良いが

(長屋委員)

我々は不要だが松下さんのような会社にとっては必要。

新町名に「〇〇町」の町は必要か？

(事務 長沢主幹)

住居表示を実施し現在の名称と同じ“学田三区町”とした場合、現在の“富良野市字学田三区”(農

家地区が残るため)に加え、“富良野市学田三区町〇番〇号”が出来、非常にわかりづらくなる。

「〇〇町」についてこれまでは全てつけている。

(長屋委員)

社名刺などでは“字”を抜いて使用している所が多い。

(原田議長)

今回で実施について結論はでない。

事務所、店舗、会社住所がどうなっているか実態を調べる必要があるか？

(外崎委員)

会社登記は字学田三区でないとできない。

単に名刺等で字を抜いて使っているのではないか。

(松下委員)

町内会に社員は入っていない。入っていないなくてもここに住んでいるので意見を聞く必要はあるのでは？

(原田議長)

今回、会社と一般では回答率に差がある。行政側が進めるということになるのか？

(事務局 近内部長)

住んでいる方たちの利便性が高まることが基本である。

アンケート結果に疑義があるのであれば、再度合意形成が必要でありさけて通れない。

(長屋委員)

(原田議長)

第5町内会としてチラシを作成し、住民、企業PRしていくこと、メリットがあることを強調していく。

(事務局 長沢主幹)

住居表示の実施にむけての説明等対応していきたい。

(長屋委員)

変更にかかる費用などの提示

(原田議長)

対象住民に集まってもらうことはむずかしい(特にアパートの住民など)

ちらしなど配って読んでもらうにはまずPRが必要である。

メリットを前面に出し、会社関係のかかる費用を調べ情報提供し再度進めてほしい。

年度内にもう一度審議会を開いていく。

5. その他

(事務局 長沢主幹)

次回の審議会は、再度町内会と協議を進め年度内開催予定とする。